

問1 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？

1. 地頭 2. 渡来人 3. 御家人 4. 守護

問2 663年に、百濟復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？

1. 関ヶ原の戦い 2. 壬申の乱 3. 承久の乱 4. 白村江の戦い

問3 中大兄皇子とともに飛鳥時代に権力を握り、天皇中心の政治の実現を阻んでいた豪族を何という？

1. 藤原氏 2. 源氏 3. 蘇我氏 4. 平氏

問4 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？

1. 天智天皇 2. 聖武天皇 3. 天武天皇 4. 持統天皇

問5 壬申の乱に勝利して即位し、天皇中心の国づくりを進めた天皇は誰？

1. 天智天皇 2. 天武天皇 3. 聖武天皇 4. 桓武天皇

問6 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？

1. 封建制度 2. 摂関政治 3. 公地公民制 4. 律令制度

問7 天智天皇の死後、大友皇子と大海人皇子の間で跡継ぎをめぐる起こった大規模な内乱を何という？

1. 承久の乱 2. 元寇 3. 壬申の乱 4. 白村江の戦い

問8 白村江の戦いのあと、九州の防衛や外交の拠点として置かれた役所を何という？

1. 大宰府 2. 平泉 3. 平城京 4. 平安京

問9 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？

1. 氏姓制度 2. 中央集権 3. 封建制度 4. 地方分権

問10 中大兄皇子らが中心となり、豪族が支配する政治を改め、天皇中心の国家を目指した政治改革を何という？

1. 大化の改新 2. 壬申の乱 3. 承久の乱 4. 応仁の乱

問11 法隆寺が位置しており、飛鳥文化の中心地でもあった現在の都道府県はどこ？

1. 京都府 2. 大阪府 3. 滋賀県 4. 奈良県

問12 推古天皇の時代、中国へ進んだ制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？

1. 遣明使 2. 勘合貿易 3. 遣隋使 4. 遣唐使

問13 聖徳太子が、家柄にこだわらず才能や功績のある人物を役人に登用するために定めた制度を何という？

1. 班田収授法 2. 冠位十二階 3. 大化の改新 4. 大宝律令

問14 天智天皇が全国的な統治を強化するために初めて作成させた、国民の名前や本籍を記録した台帳を何という？

1. 班田収授法 2. 公地公民 3. 租庸調 4. 戸籍

問15 聖徳太子が、役人たちの道徳や政治の心得として定めた法令を何という？

1. 十七条の憲法 2. 大化の改新 3. 大宝律令 4. 養老律令

問16 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？

1. 大宝律令 2. 大化の改新の詔 3. 十七条の憲法 4. 御成敗式目

答え合わせ・解説

問1	答え 2 渡来人	渡来人たちは、土木建築、製鉄、機織り、漢字や儒教などの学問といった、当時としては極めて高度な技術や知識を日本に伝えました。特に白村江の戦いの後の防衛施設建設や、寺院の建立には彼らの技術が不可欠でした。
問2	答え 4 白村江の戦い	663年、日本は百済の遺臣とともに大軍を派遣しましたが、白村江で唐と新羅の強大な連合軍に大敗を喫しました。この敗戦は、当時の日本にとって国際的な大きな転換点となりました。
問3	答え 3 蘇我氏	蘇我氏は飛鳥文化の中心的な存在でもあり、聖徳太子と協力して国の基盤を固めました。しかし、独裁的な権力を振るったことで他の豪族や天皇家との対立を深め、最終的には不満を持つ中大兄皇子や中臣鎌足らによって倒されることとなりました。
問4	答え 1 天智天皇	天智天皇は、唐や新羅の勢力に備えるために都を近江大津宮へ移し、強力な国家建設を推進しました。特に、日本で初めて全国的な戸籍である「庚午年籍」を作成したことは、国が国民を把握し、税を確実に徴収するための非常に重要な転換点となりました。
問5	答え 2 天武天皇	天武天皇は、即位後に天皇中心の政治体制を整えました。皇親政治を行いながら、律令制度の導入に向けた整備や、歴史書の編纂を命じるなど、国家としての骨格作りを行いました。
問6	答え 4 律令制度	「律」は今の刑法、「令」は今の行政法にあたるもので、これらを組み合わせて国を治める体制を律令制度といいます。この制度により、中央政府が地方を支配し、すべての国民を戸籍で管理して税や労役を課するという中央集権的な国家体制が築かれました。
問7	答え 3 壬申の乱	672年に始まったこの争いは「壬申の乱」と呼ばれ、地方の豪族や兵を味方につけた大海人皇子が勝利しました。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、これまでの豪族中心の政治から、天皇に権力が集中する政治へと大きく転換しました。
問8	答え 1 大宰府	大宰府は、九州地方（特に博多周辺）を管轄する行政機関です。軍事防衛だけでなく、外国との外交交渉を行う窓口としての役割も持ちました。周囲には「水城」という土木施設を築き、守りを固めたとされています。
問9	答え 2 中央集権	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「中央集権」です。地方の豪族から土地や民を公のものとする「公地公民」を掲げ、中央政府が全国を一括して管理するシステムを構築しました。
問10	答え 1 大化の改新	645年、中大兄皇子や中臣鎌足らは、強大な権力を持っていた蘇我入鹿を倒し、天皇中心の国づくりを目指す「大化の改新」を開始しました。彼らは「公地公民」を掲げ、土地や民を豪族の手から国家の管理下に移しました。また、税制の整備や中央集権的な統治を目指す制度の導入を行いました。
問11	答え 4 奈良県	奈良県には法隆寺のほか、飛鳥寺や四天王寺などの初期仏教寺院が建てられ、大陸文化の影響を受けた美術が発展しました。この地域の独自の風土から、日本の古代文化が形作られていきました。
問12	答え 3 遣隋使	607年に小野妹子らが派遣されました。彼らは隋の皇帝に国書を届けて対等な外交関係を求めるとともに、仏教の教義や政治の仕組みを学び帰国しました。これにより日本には大陸の新しい文化が急速に流入しました。
問13	答え 2 冠位十二階	603年に制定された冠位十二階は、役人に大徳から少信まで12のランクを設け、色分けされた冠を授けることで地位を表す制度です。家柄ではなく実力で地位が決まる仕組みを作ること、朝廷への忠誠心を高め、有能な人材を活用することを目指しました。
問14	答え 4 戸籍	天智天皇が作成させた戸籍（庚午年籍）は、日本で初めて全国的に行われたものです。これにより、誰がどこに住んでいて、どのくらいの労働力があるのかを国が管理できるようになりました。これにより、徴兵や税の徴収がスムーズに行える体制が整えられました。
問15	答え 1 十七条の憲法	604年に制定された十七条の憲法は、仏教や儒教の考え方を基盤に、役人が守るべき心構えを説いたものです。「和をもって貴しとなす」といった協調の精神や、天皇に仕える者としての自覚、公正な政治を行うことなどが記されています。
問16	答え 3 十七条の憲法	604年に聖徳太子によって制定された「十七条の憲法」は、役人が守るべき道徳や心構えを説いたものです。特に「和をもって貴しとなす」という言葉が有名で、天皇への服従や、仏教を重んじることを説いています。